

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	21	安全でおいしい水道水を安定供給する	評価責任者 (基本施策主管課長)	水道部施設課長 坂本 忠久
-------	----	-------------------	---------------------	------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 快適 政 策 暮らしを支える生活環境の整ったまちづくり
① 市民意識調査結果	<p>市民意識調査によると、本基本施策の必要度及び満足度は平均より高いということが分かる。 水道部では平成20年3月、「伊賀市水道事業基本計画」(地域水道ビジョン)～ひと・地域(まち)・未来を結ぶ輝く水道を目指しての策定にあたり、一般市民対象(1000人)にアンケート調査実施。この結果では、水道管、水源、浄水場、配水池など、施設の耐震化整備が特に望まれている。</p>
③ 基本施策の現状と課題	<p>①東海・東南海・南海地震がいつ起きてもおかしくないといわれていることから、市民の方に安心していただける施設の地震対策を優先的に行う必要がある。 ②平成22年4月伊賀市水道一元化に伴い管路整備の充実が必要である。 ③給水区域内における、未給水地域が点在している。</p>
④ 基本施策の意図、今後の展望	伊賀市水道事業基本計画、短期期間(平成19年度～平成22年度)・中期期間(平成23年度～平成27年度)・長期期間(平成28年度～平成30年度)の目標での事業計画に伴い、課題解消のため施設整備を実施するとともに、安全・安心・安定な供給を図り有収率向上を目指す。

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額	
1	水道部 施設課 1139	伊賀市水道広域化促進事業		614,600	653,600	921,600	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計				614,600	653,600	921,600	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本施策指標である、「安全・安心・安定な供給」に伴う事業について、本年度はほぼ達成できるものとする。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	基本施策を進めるためには適切である。
3 役割分担の妥当性	市以外と役割分担はない。現在妥当である。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	平成20年3月策定の「伊賀市水道事業基本計画」(地域水道ビジョン)～ひと・地域(まち)・未来を結ぶ輝く水道をめざして～に基づき、「安全・安心・安定な供給」を図る事業を推進する。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
安全・安心・安定な供給		上水道及び簡易水道有収率		1
"		上水道及び簡易水道給水普及率		2

基本施策指標名	単位	過年度実績	評価年度 目標値				ベンチマーク	指標の説明
			H21	H22	H23	H25		
1 上水道及び簡易水道有収率	目標	%	82.5	87.2	83.5	85.1	86.7	(年間総有収水量÷年間総配水量)×100
	実績	%	82.3	81.9				
	達成率	%	99.8	93.9				
2 上水道及び簡易水道給水普及率	目標	%	99.0	99.3	99.4	99.7	99.9	(給水人口÷給水区域内人口)×100
	実績	%	98.4	98.8				
	達成率	%	99.4	99.5				
	目標							
	実績							
	達成率							
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				